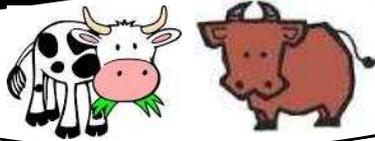


# 衛生だより



平成30年度第9号（7月）発行  
千葉県北部家畜保健衛生所  
東部・北部家畜防疫獣医師会  
〒287-0004 香取市岩ヶ崎台12-1  
Tel : 0478-54-1291 Fax : 54-5996  
夜間・休日緊急（転送されます）  
（公社）千葉県畜産協会  
〒260-0021 千葉市中央区新宿1-2-3

## 夏季休暇期間中の防疫対策

人・物の出入りが増える夏季休暇期間中、飼養衛生管理の再徹底を！

1. 口蹄疫の発生地域への渡航は可能な限り自粛する。

もし渡航する場合は・・・

- ①家畜市場、農場、と畜場等の畜産関連施設に立ち入らない。
- ②動物との不要な接触を避ける。
- ③肉製品を持ち帰らない。
- ④帰国時は空海港の動物検疫所カウンターへ。
- ⑤帰国後1週間は衛生管理区域に入らない。
- ⑥海外で使用した衣服や靴は衛生管理区域に持ち込まない。



2. 農場へ部外者や不要な物を入れない。

立入禁止

3. 人・車両・物品の消毒を徹底する。

4. 毎日健康観察を実施し、口蹄疫等の早期発見・早期通報に努める。



## 適切な暑熱対策を！

気象庁の予報によると、今年の7～9月は平均気温が全国で高い確率50%です。生産性の維持のために、家畜の過ごしやすい環境を整えましょう。

- ・遮光ネットやよしずによる日よけ
- ・屋根への断熱材設置、消石灰塗布、スプリンクラーの設置など
- ・換気扇、扇風機による送風、畜体への散水
- ・密飼いを避ける
- ・清潔で冷たい水を十分に飲めるようにする
- ・良質で消化率の高い飼料の給与、ビタミン・ミネラルの補給
- ・生産適温域の確認：乳牛5～20℃、育成牛10～25℃、肉牛5～25℃

家畜の様子がおかしいと思ったら・・・

北部家畜保健衛生所 Tel.0478-54-1291 Fax.0478-54-5996

夜間・休日は転送されますので、必ず5回以上コールしてください

毎月1日は  
一斉消毒の日

# 県内で牛サルモネラ症が発生しました！

県内でサルモネラ・ティフィムリウム(ST)による牛サルモネラ感染症の発生がありました。STによる本病は家畜伝染病予防法における届出伝染病です。

## ✓ サルモネラ症の症状

### ◎子牛

- ・食欲不振 ・発熱(40~42℃)
- ・下痢：悪臭のある水様下痢～粘血便
- \* 1カ月齢以下の子牛では症状が最も激しく、死亡率が高い
- \* 急性のものでは数日以内に死亡することもある
- \* 関節の腫れ、肺炎が見られることもある

### ◎成牛

- ・症状は子牛と同様(発熱・下痢：悪臭のある水様下痢～粘血便)
- ・乳量減少
- \* サルモネラ・ダブリン(SD)の感染では、妊娠後期の牛で早・流産を起こすことがある
- \* 分娩後がもっとも発症しやすい。症状が悪化すると死亡することがある。

## ✓ サルモネラ症の予防・治療

サルモネラ症は見かけ上回復しても**保菌牛**となることがあり、長期間糞便中に菌を排出すると、終息までに長い時間を要します。

### ◎予防

**サルモネラ症の予防には飼養衛生管理基準を  
しっかり守ることが最も効果的です!!**

- 踏み込み消毒槽**を設置し、牛舎に出入りする際に**長靴を消毒**する  
→サルモネラは感染牛のふん便を他の牛が口にすることで感染します。  
ふんで汚れた長靴は要注意！
- 農場に出入りする**車両の消毒徹底**
- 牛舎内外の**清掃・消毒**
- 農場内への**不要な立入の禁止**
- 牛舎専用の作業着・長靴を使用する
- 野生動物も感染源になるため、**野生動物の侵入防止・駆除**
- 導入牛は3週間ほど隔離**し、健康に異常がない事を確認する
- サルモネラは人へも感染する**ので、作業した後は手指をよく洗う。

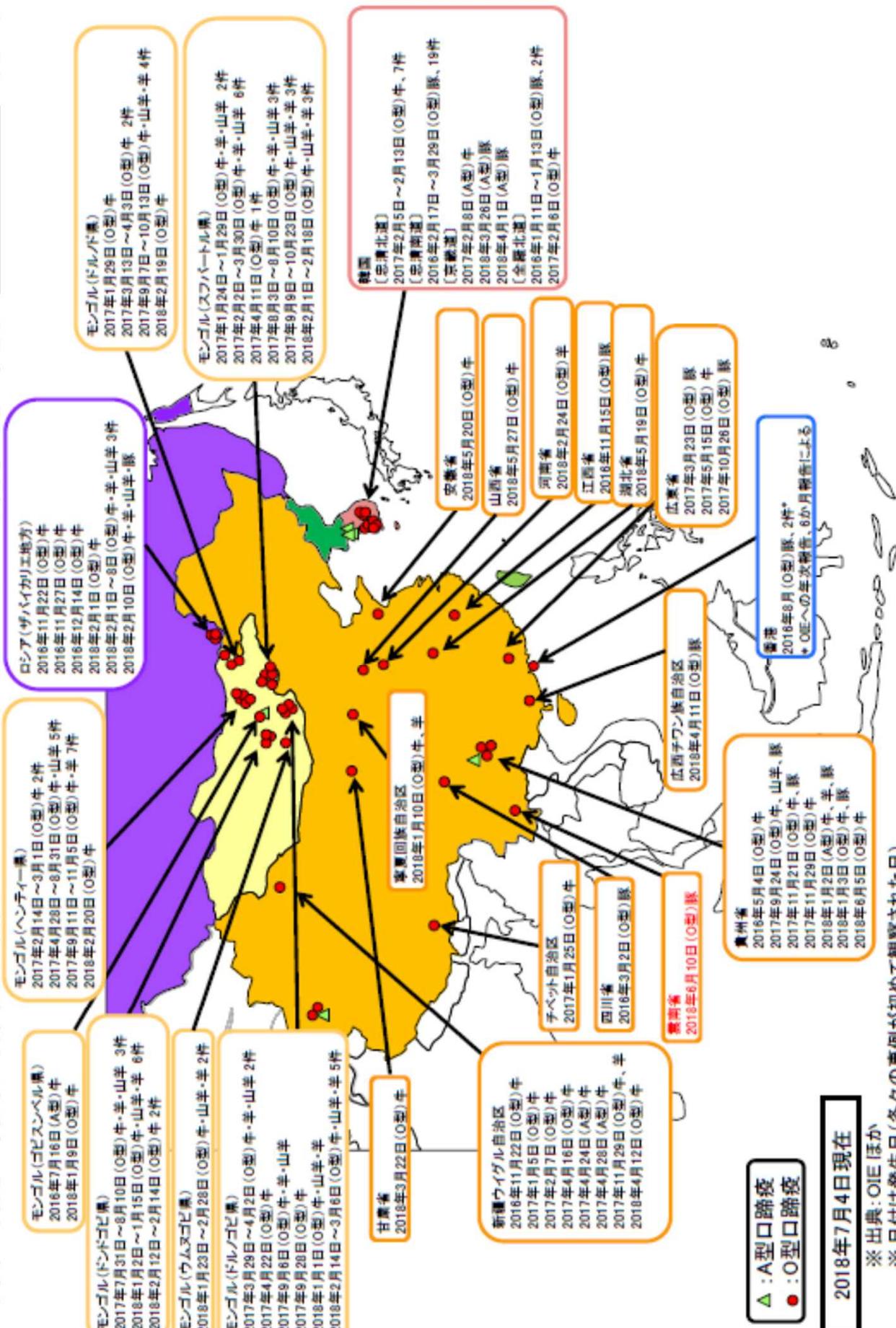


### ◎治療・ワクチンについて

- ・発症牛には抗生物質を投与する
- ・治療をしても排菌し続ける牛は淘汰する
- ・ワクチン接種も有効な予防法です。

\* 治療やワクチンの詳細はかかりつけの診療獣医師にご相談ください。

# 中国、香港、台湾、北朝鮮、韓国、モンゴル、ロシアにおける口蹄疫の発生状況 (2016年1月以降の発生)



▲ : A型口蹄疫  
● : O型口蹄疫

2018年7月4日現在

※ 出典: OIE ほか  
 ※ 日付は発生日(各々の事例が初めて観察された日)  
 ※ ロシアは東アジアの近接地域に限る